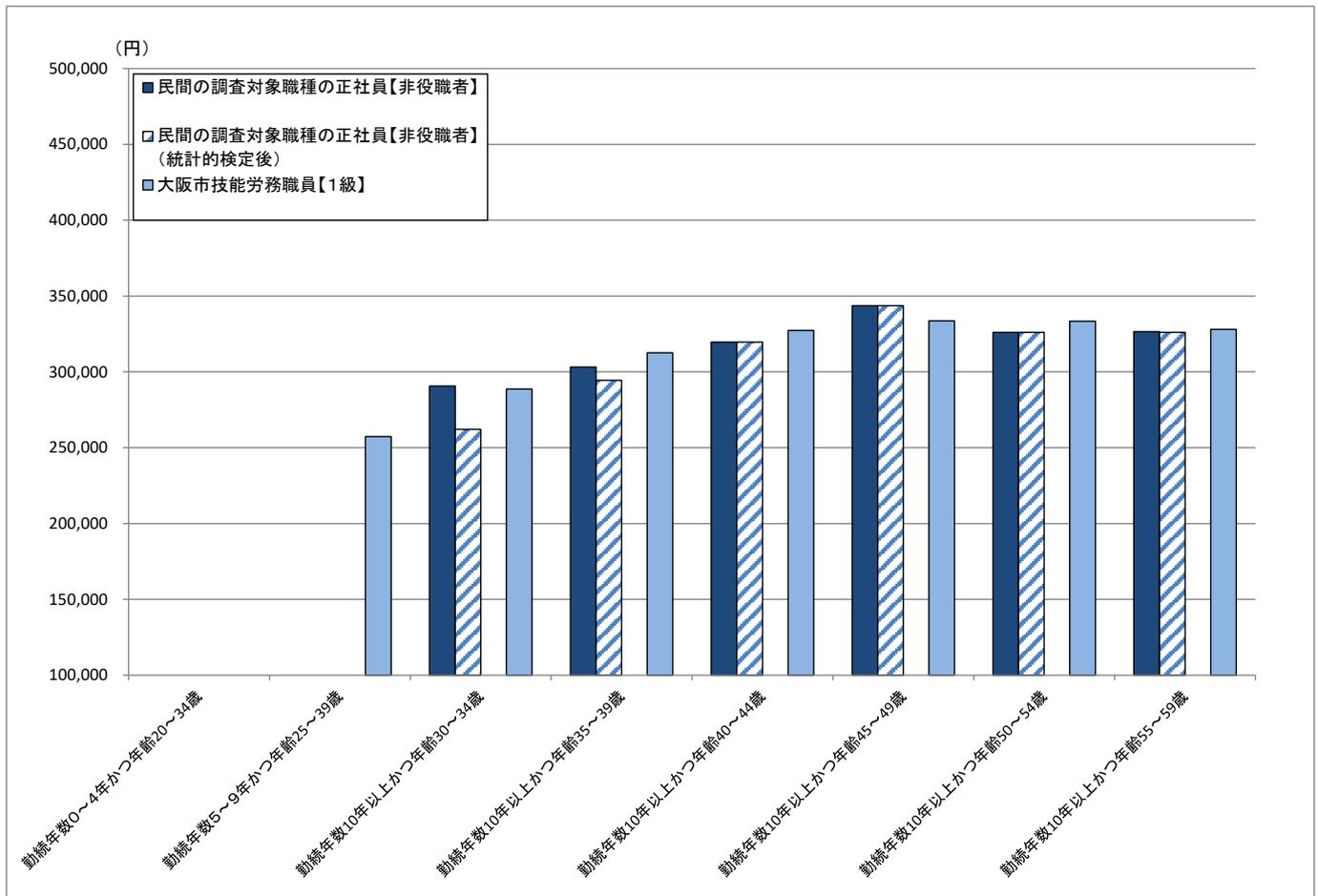


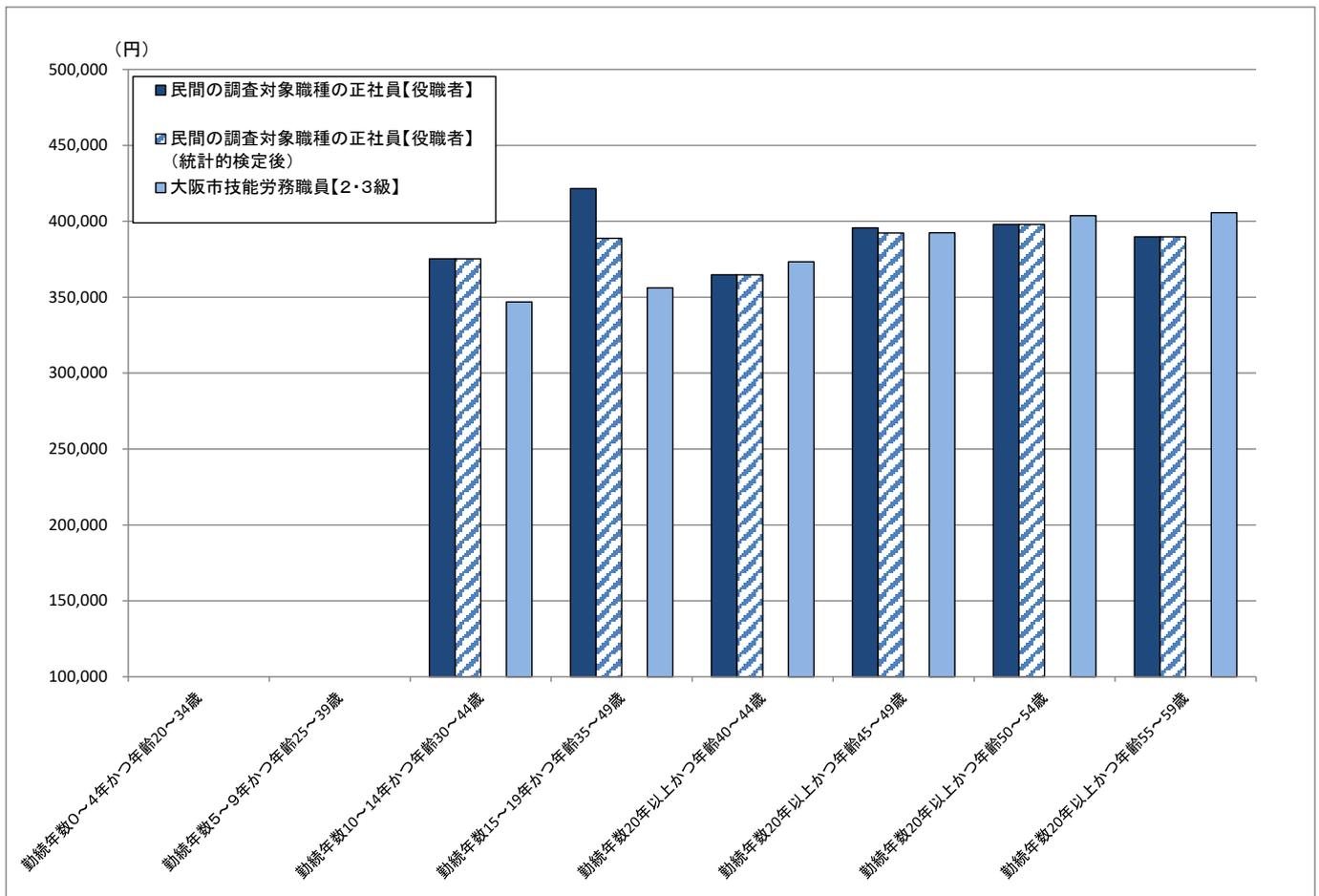
第 24 表 職種全体「民間の調査対象職種の正社員【非役職者】」と「大阪市技能労務職員【1級】」の比較



	民間の調査対象職種の正社員【非役職者】		大阪市技能労務職員【1級】	
	平均給与月額	統計的検定後	職員数	平均給与月額
勤続年数0～4年かつ年齢20～34歳	円 -	円 -	人 -	円 -
勤続年数5～9年かつ年齢25～39歳	-	-	6	257,267
勤続年数10年以上かつ年齢30～34歳	290,575	262,144	8	288,720
勤続年数10年以上かつ年齢35～39歳	303,142	294,486	155	312,614
勤続年数10年以上かつ年齢40～44歳	319,544	左記に同じ	572	327,388
勤続年数10年以上かつ年齢45～49歳	343,667		922	333,631
勤続年数10年以上かつ年齢50～54歳	326,068		909	333,331
勤続年数10年以上かつ年齢55～59歳	326,490	326,090	518	328,027
合計	329,102	328,578	3,090	330,129

(注) 1. 民間の調査対象職種の正社員については、60歳以上の者と休職等による想定最低賃金未満の者を集計から除外している。
 2. 民間の調査対象職種の正社員の平均給与月額とは、月ごとに支給される時間外手当及び通勤手当を除く全ての給与の平均。(基本給のみならず、家族手当、地域手当、住宅手当、役付手当、単身赴任手当、寒冷地手当、職務手当等を含む。)
 3. 「統計的検定後」とは、統計的手法であるスミルノフ・グラブス検定により外れ値を検出し、対象データを集計から除外した金額。
 4. 大阪市技能労務職員の平均給与月額とは、給料月額、扶養手当、地域手当、住居手当及び単身赴任手当基礎額の合計額の平均。
 5. 民間の調査対象職種の正社員の平均給与月額については、本市と民間の職種別構成の相違を調整するため、本市職員構成で加重平均したもの。

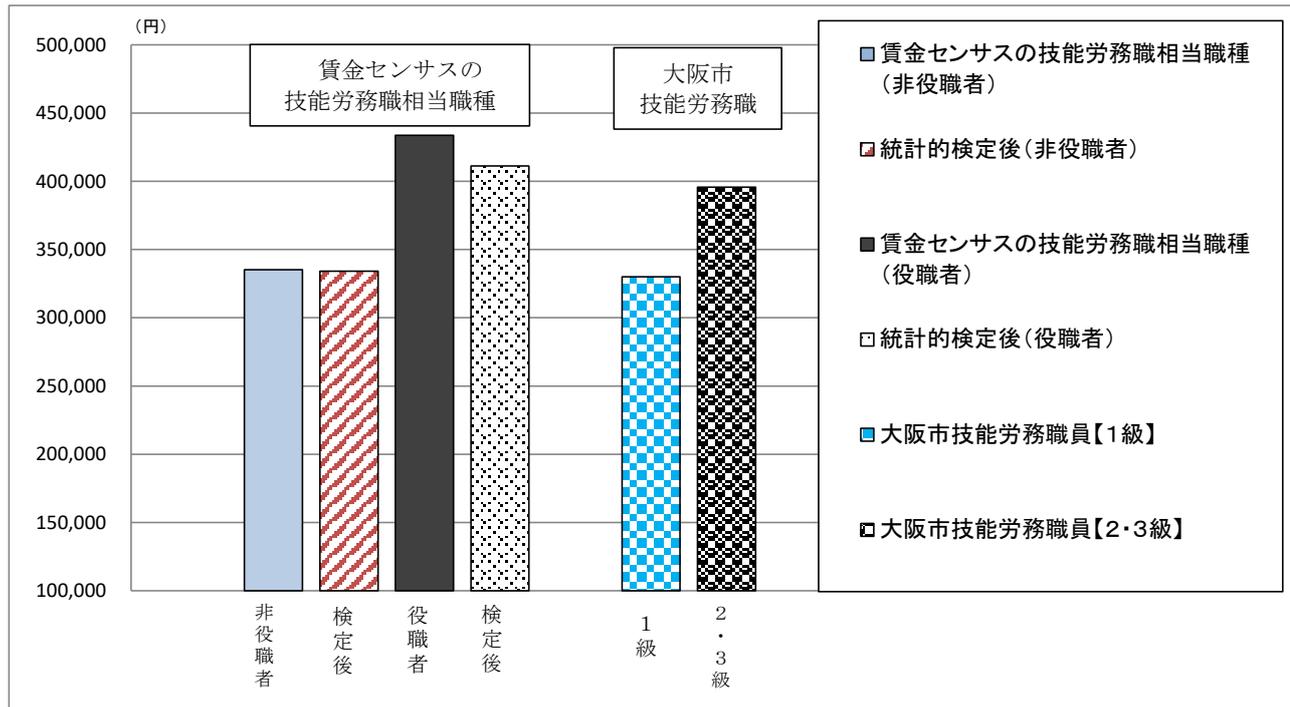
第 25 表 職種全体「民間の調査対象職種の正社員【役職者】」と「大阪市技能労務職員【2・3級】」の比較



	民間の調査対象職種の正社員【役職者】		大阪市技能労務職員【2・3級】	
	平均給与月額	統計的検定後	職員数	平均給与月額
勤続年数0～4年かつ年齢20～34歳	円 -	円 -	人 -	円 -
勤続年数5～9年かつ年齢25～39歳	-	-	-	-
勤続年数10～14年かつ年齢30～44歳	375,265	左記に同じ	9	346,838
勤続年数15～19年かつ年齢35～49歳	421,568	388,843	134	356,100
勤続年数20年以上かつ年齢40～44歳	364,675	左記に同じ	94	373,269
勤続年数20年以上かつ年齢45～49歳	395,725	392,254	381	392,457
勤続年数20年以上かつ年齢50～54歳	397,931	左記に同じ	654	403,670
勤続年数20年以上かつ年齢55～59歳	389,784	左記に同じ	535	405,616
合計	395,145	391,912	1,807	396,490

(注) 1. 民間の調査対象職種の正社員については、60歳以上の者と休職等による想定最低賃金未満の者を集計から除外している。
 2. 民間の調査対象職種の正社員の平均給与月額とは、月ごとに支給される時間外手当及び通勤手当を除く全ての給与の平均。(基本給のみならず、家族手当、地域手当、住宅手当、役付手当、単身赴任手当、寒冷地手当、職務手当等を含む。)
 3. 「統計的検定後」とは、統計的手法であるスミルノフ・グラブス検定により外れ値を検出し、対象データを集計から除外した金額。
 4. 大阪市技能労務職員の平均給与月額とは、給料月額、扶養手当、地域手当、住居手当及び単身赴任手当基礎額の合計額の平均。
 5. 民間の調査対象職種の正社員の平均給与月額については、本市と民間の職種別構成の相違を調整するため、本市職員構成で加重平均したもの。

第 26 表 「賃金構造基本統計調査（賃金センサス）の技能労務職相当職種正社員の給与」と「大阪市技能労務職員の給与」の比較
 （大阪市技能労務職員の平均年齢及び平均勤続年数に調整したもの）

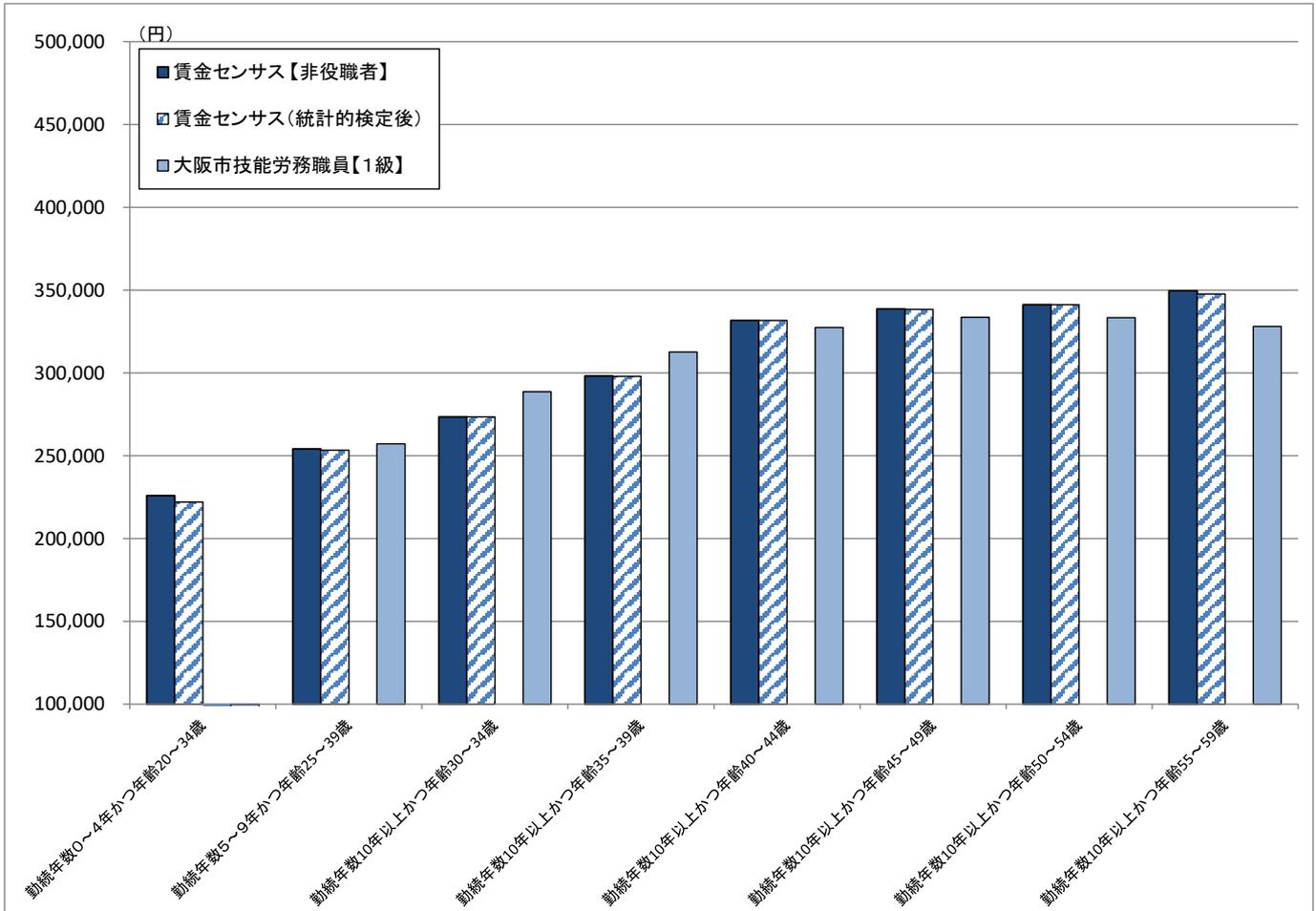


賃金センサスの技能労務職相当職種 (非役職者)	大阪市技能労務職員【1級】		
平均給与月額	平均年齢	平均勤続年数	平均給与月額
335,218 (334,220) 円	49.2 歳	22.4 年	330,106 円

賃金センサスの技能労務職相当職種 (役職者)	大阪市技能労務職員【2・3級】		
平均給与月額	平均年齢	平均勤続年数	平均給与月額
433,649 (411,289) 円	51.9 歳	26.7 年	395,638 円

- (注) 1. 賃金センサスは正社員・正職員数が50人以上の事業所に勤務する、実労働日数が15日以上的一般労働者で雇用期間の定めのない正社員・正職員のうち、技能労務関係職種相当の者を対象とし、平成28年から平成30年までの3年間の調査データで算出した。
2. 賃金センサスは年齢が20歳未満の者、60歳以上の者及び想定最低賃金未満の者については集計から除外した。
3. 賃金センサスの平均給与月額とは、きまって支給する現金給与額から超過労働給与額を除いた金額である。
4. 賃金センサスの平均給与月額の（ ）内の金額は、民間データからスミルノフ・グラブス検定により外れ値を検出し、対象データを集計から除外した金額。
5. 賃金センサスの正社員の平均給与月額について、平均年齢と平均勤続年数を大阪市技能労務職員と同一に調整して推計した平均給与月額である。推計するにあたり、統計手法（回帰分析）を用いた。
6. 大阪市技能労務職員の平均給与月額とは、給料月額、扶養手当、地域手当、住居手当及び単身赴任手当基礎額の合計額の平均。

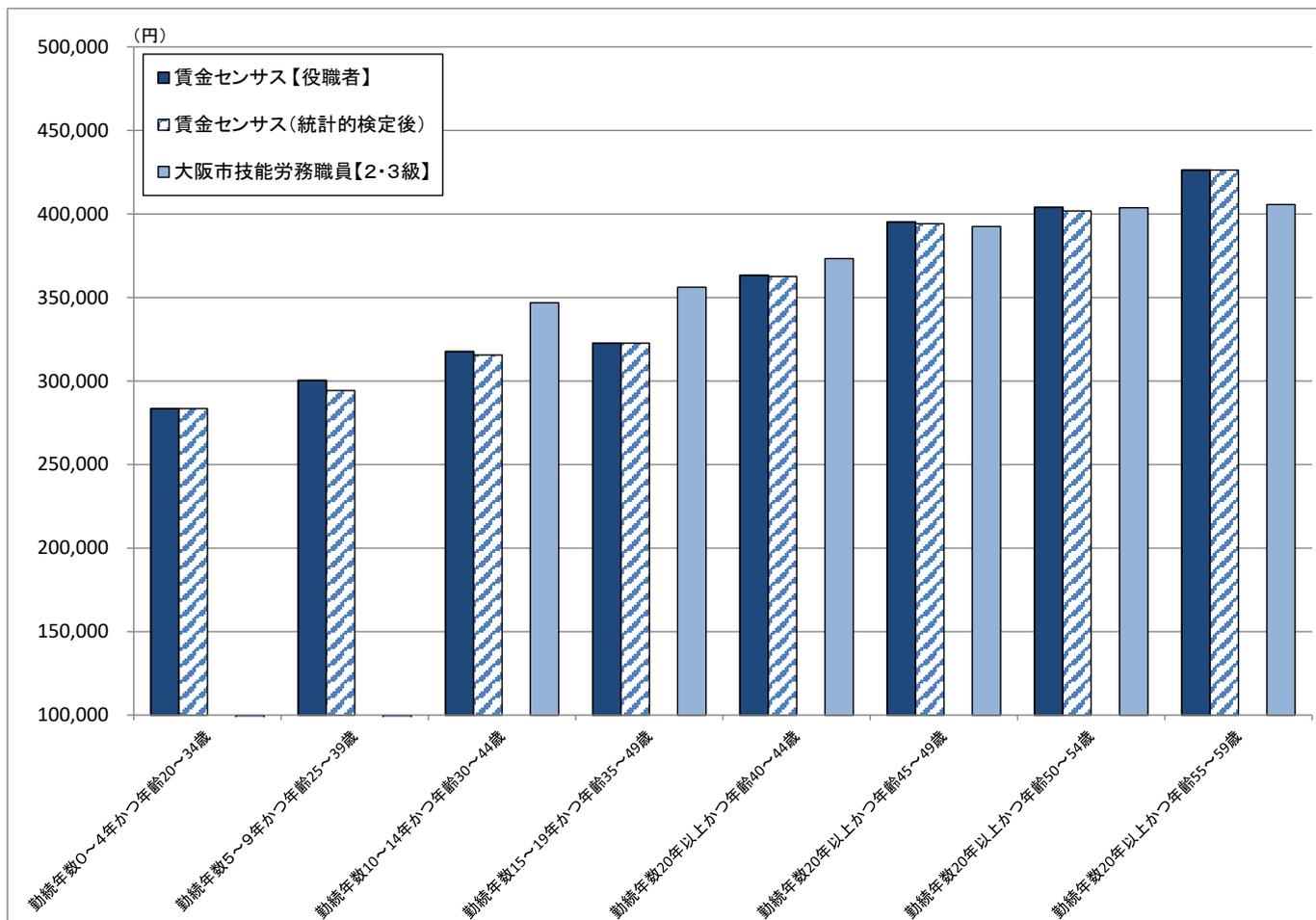
第 27 表 「賃金センサス【非役職者】」と「大阪市技能労務職員【1級】」の比較



	賃金センサス【非役職者】			大阪市技能労務職員【1級】	
	調査実人員	平均給与月額	統計的検定後	職員数	平均給与月額
	人	円	円	人	円
勤続年数0～4年かつ年齢20～34歳	837	225,866	222,071	-	-
勤続年数5～9年かつ年齢25～39歳	631	254,149	253,338	6	257,267
勤続年数10年以上かつ年齢30～34歳	208	273,478	左記に同じ	8	288,720
勤続年数10年以上かつ年齢35～39歳	352	298,199	297,943	155	312,614
勤続年数10年以上かつ年齢40～44歳	479	331,679	左記に同じ	572	327,388
勤続年数10年以上かつ年齢45～49歳	467	338,644	338,375	922	333,631
勤続年数10年以上かつ年齢50～54歳	390	341,231	左記に同じ	909	333,331
勤続年数10年以上かつ年齢55～59歳	304	349,655	347,715	518	328,027
合計	3,668	337,600	337,180	3,090	330,129

- (注) 1. 賃金センサスの平均給与月額とは、きまって支給する現金給与額から超過労働給与額を除いた金額である。
 2. 「統計的検定後」とは、統計手法であるスミルノフ・グラブス検定により外れ値を検出し、対象データを集計から除外した金額。
 3. 賃金センサスの平均給与月額の合計は、本市職員構成で加重平均した金額。
 4. 賃金センサスは正社員・正職員数が50人以上の事業所に勤務する、実労働日数が15日以上的一般労働者で雇用期間の定めのない正社員・正職員のうち、技能労務関係職種相当の者を対象とし、平成28年から平成30年までの3年間の調査データで算出した。
 5. 賃金センサスは年齢が20歳未満の者、60歳以上の者及び想定最低賃金未満の者については集計から除外した。
 6. 大阪市技能労務職員の平均給与月額とは、給料月額、扶養手当、地域手当、住居手当及び単身赴任手当基礎額の合計額の平均。

第 28 表 「賃金センサス【役職者】」と「大阪市技能労務職員【2・3級】」の比較



	賃金センサス 【役職者】			大阪市技能労務職員【2・3級】	
	調査実人員	平均給与月額	統計的検定後	職員数	平均給与月額
勤続年数0～4年かつ年齢20～34歳	11人	283,495円	左記に同じ	—人	—円
勤続年数5～9年かつ年齢25～39歳	44	300,394	294,337	—	—
勤続年数10～14年かつ年齢30～44歳	58	317,664	315,595	9	346,838
勤続年数15～19年かつ年齢35～49歳	60	322,693	左記に同じ	134	356,100
勤続年数20年以上かつ年齢40～44歳	71	363,207	362,539	94	373,269
勤続年数20年以上かつ年齢45～49歳	95	395,249	394,207	381	392,457
勤続年数20年以上かつ年齢50～54歳	58	403,976	401,748	654	403,670
勤続年数20年以上かつ年齢55～59歳	29	426,250	左記に同じ	535	405,616
合計	426	400,152	399,081	1,807	396,490

- (注) 1. 賃金センサスの平均給与月額とは、きまって支給する現金給与額から超過労働給与額を除いた金額である。
 2. 「統計的検定後」とは、統計手法であるスミルノフ・グラブス検定により外れ値を検出し、対象データを集計から除外した金額。
 3. 賃金センサスの平均給与月額の合計は、本市職員構成で加重平均した金額。
 4. 賃金センサスは正社員・正職員数が50人以上の事業所に勤務する、実労働日数が15日以上的一般労働者で雇用期間の定めのない正社員・正職員のうち、技能労務関係職種相当の者を対象とし、平成28年から平成30年までの3年間の調査データで算出した。
 5. 賃金センサスは年齢が20歳未満の者、60歳以上の者及び想定最低賃金未満の者については集計から除外した。
 6. 大阪市技能労務職員の平均給与月額とは、給料月額、扶養手当、地域手当、住居手当及び単身赴任手当基礎額の合計額の平均。

第 29 表 特別給の比較

その 1 民間調査対象職種の正社員の状況

大阪市技能労務職 職務内容区分	民間法人 調査対象職種	年間通期 特別給 支給割合	下半期（平成30年8月～平成31年1月）					上半期（平成31年2月～令和元年7月）				
			特別給 支給 割合	法人数	調査 実人員	特別給 支給総額	月例給与 支給総額 (時間外手 当を除く)	特別給 支給 割合	法人数	調査 実人員	特別給 支給総額	月例給与 支給総額 (時間外手 当を除く)
		月分	月分	法人	人	千円	千円	月分	法人	人	千円	千円
公園維持管理	植木職、造園師	*	*	*	*	*	*	1.663	2	25	12,579	7,564
道路維持管理	土工	1.19	0.588	17	131	52,740	89,741	0.601	18	167	66,571	110,722
施設維持管理	溶接工、金属・建築塗 装工、電気工、機械修 理工、鉄工、板金工	2.82	1.476	80	1,002	548,851	371,743	1.340	86	1,198	710,789	530,387
測量作業	測量技術者	2.86	1.342	24	100	57,088	42,534	1.518	23	153	125,518	82,705
給食調理	調理士	2.03	1.271	7	178	36,567	28,768	0.757	10	212	42,192	55,717
学校管理作業	ビル管理人、用務員	3.61	2.017	21	666	382,132	189,482	1.593	25	739	354,260	222,409
ごみ収集	ごみ収集作業員	1.83	1.013	10	181	61,203	60,399	0.821	13	220	59,107	71,953
安全対策	警備員、守衛	1.12	0.625	16	276	66,716	106,812	0.496	21	479	80,051	161,483
車両整備	自動車整備工	1.95	0.834	10	70	25,722	30,858	1.121	10	65	34,869	31,102
上水道維持管理	上水道維持管理作業員	2.78	1.489	10	143	61,876	41,569	1.287	11	166	100,975	78,452
船舶作業	船員	2.72	1.408	2	19	9,220	6,546	1.315	2	18	8,239	6,266
重複該当	—	2.53	1.135	37	815	315,335	277,821	1.396	47	1,058	1,080,620	773,827
総計		2.55	1.298	235	3,582	1,617,656	1,246,480	1.255	268	4,500	2,675,770	2,132,587

- (注) 1. 「重複該当」とは、同一法人において複数の調査対象職種の正社員を雇用している場合を指す。
 2. 「*」は、法人数が1の場合である。
 3. 調査期間において月例給のみを支給し、特別給は支給しなかった法人も含めて計算した。

その 2 大阪市技能労務職員の状況

	令和元年度の期末手当及び勤勉手当 平均支給月数
大阪市技能労務職員	4.50

